

# 103-125

## 問題文

	年少人口割合（％）	生産年齢人口割合（％）	老年人口割合（％）
1995 年	16	69	15
2015 年	13	60	27
2035 年	10	57	33

- 1. 年少人口割合と老年人口割合の和は、従属人口割合となる。
- 2. この表から求められる老年人口割合の倍化年数は、20年より短い。
- 3. 1995年から2015年にかけて、老年化指数は2倍以上上昇している。
- 4. 2015年における老年人口指数は50を上回る。
- 5. 2035年に予測される年少人口指数は15を下回る。

## 解答

1, 3

## 解説

選択肢 1 は、正しい記述です。  
従属人口割合＝年少＋老年人口割合 です。

選択肢 2 ですが  
1995年から2015年の 20 年かけて、 15 % → 27 % と変化しています。 倍までは増加してません。 倍化年数は 20 年より長いとわかります。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。  
老年化指数とは、 老年人口（65歳以上人口）を 年少人口（14歳以下人口）で割って 100 を掛けたものです。 老年人口割合を年少人口割合で割って 100を掛けても求めることができます。

1995 年は、 $15/16 \times 100$  です。これは 100 より 少し小さい値です。 2015 年は、 $27/13 \times 100$ です。これは 200 より 少し大きい値です。 従って、2 倍以上上昇しています。

選択肢 4 ですが  
老年人口指数とは、 老年人口／生産年齢人口  $\times 100$  です。つまり  $27/60 \times 100$  です。これは 50 を下回ります。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが  
年少人口指数とは、 年少人口／生産年齢人口  $\times 100$  です。つまり  $10/57 \times 100$  です。  $1/6 \times 100$  が 17% 弱なので、  $10/57 \times 100$  は、15% を明らかに上回ります。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。  
類題